

平成21年度第2回

## 八王子市市史編集委員会

日時：平成21年6月6日（土）

午後2時から

場所：八王子市市史編さん室

### 【次第】

1. 開会
2. 専門部会の活動状況について
3. 市史編集方針（案）について
4. その他
5. 閉会

### （配付資料一覧）

資料1 市史編集専門部会調査活動報告

資料2 八王子市市史編集方針について

資料 1

平成 2 1 年 6 月 6 日  
八王子市市史編集委員会

市史編集専門部会調査活動報告

(平成 2 1 年 5 月分)

部 会 名	平成 21 年度 第 1 回 原始・古代 部会	開催（実施）日時 平成 21 年 5 月 16 日（土） 午前・ <u>午後</u> 6 時 30 分～ 午前・ <u>午後</u> 8 時 40 分まで
報告者（部会長氏名） <敬称略>	関 和彦	専門員氏名 馬場 有美
出席者（参加者）氏名 <敬称略>	部会長 関 和彦 部会委員 池上 悟 及川良彦 黒尾和久 深澤靖幸 専門調査員 服部敬史 【事務局】佐藤広 新井雅人 馬場有美	
概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください）		
<p>1．原始・古代部会の課題</p> <p>（1）原始・古代編は資料編が平成 23 年度、本編が平成 25 年度と刊行年が早いという時間的な問題があるため、これまで行われてきた発掘調査をどのようにまとめていくかが課題である。</p> <p>（2）八王子市の遺跡は 1030 と膨大であり、資料編については他自治体史のように各遺跡の概要を書くとなると 1 冊に収まりきらない。新市史では報告書の発行されていない遺跡に関して、レベルを引き上げて取り上げるのはどうか。</p> <p>（3）文献資料をどのような観点から見るのか。他市史では制度史で終始する傾向が強いが八王子独自の方法で描けないか。古代は中世と切れない関係にあることから、どの範囲、年代まで扱うのかも含め、中世部会と調整の必要がある。</p> <p>2．各部会に共通する課題</p> <p>（1）他の時代区分では考古学をどのように扱うのか。</p> <p>（2）地図資料は各時代区分で作成するのか。全体で 1 冊作る可能性もあるのか。</p> <p>2．判型について</p> <p>判型は地図・図版・写真を載せるため、カラー印刷でなるべく大きい判が適当である。</p> <p>3．今後の調査案</p> <p>（1）八王子市内の遺跡の巡見</p> <p>（2）八王子市域、及び周辺の神社・寺院の調査</p> <p>（3）北大谷古墳の発掘調査</p>		

(4) 花粉分析のためのボーリング調査

(5) 遺物整理作業

これらの調査の前段階として、遺跡データベースを作成し、八王子市にある遺跡の状況と内容を確認する。

#### 4. 専門部会委員の市史分担構成案

各部会委員の担当分野を時代ごとに配分した。

黒尾和久	旧石器～縄文
及川良彦	弥生～古墳中期
池上 悟	古墳
深澤靖幸	奈良・平安
服部敬史	集落
関 和彦	古代史

#### 5. 次回の部会会議

第2回原始・古代部会会議

議題：市史本編の内容（イメージ）案について  
今後の調査について

日時：平成21年6月15日（月） 18：00～

場所：八王子市生涯学習センター（クリエイトホール）10階 第4学習室

<配布資料>

部会長よりレジュメ「八王子市史『原始・古代』編纂に向けて - 原始・古代部会 - 第1回専門部会に向けての基本的課題素案」

<市史編さん室への寄贈資料>

及川良彦委員から「竪穴建物の周堤」『月刊考古学ジャーナル No.559』

「粘土の採掘」「土器の補修・穿孔」『総覧 縄文土器』

「集落の展開 - 丘陵・山間部 - 」『文化財の保護 第31号』

部 会 名	中世部会	開催（実施）日時 平成 21 年 5 月 17 日（日） 午前・午後 10 時 分～ 午前・午後 4 時 30 分まで
報告者（部会長氏名） <敬称略>	池上裕子	専門員氏名 柳沢 誠
出席者（参加者）氏名 <敬称略>	部会長 池上裕子 部会委員 加藤 哲 小林一岳 櫻井 彦 【事務局】新井雅人 渡部恵一 柳沢 誠	
概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください）		
<p>本部会では、夏の本調査を前に、本市北西部から市街地北部浅川に注ぐ川口川の上流～中流域の事前実踏調査をおこなった。</p> <p>1．行程</p> <p>（1）午前 今熊神社 正福寺〔豊原〕（今熊神社の別当寺） 福寿寺〔麴谷[こうじや]〕（伝永禄期開山）…久保集落 大仙寺（田守神社の別当寺。伝鎌倉期草創） 田守神社</p> <p>（2）午後 戸沢から恩方に南下する街道につながる「鎌倉古道」入口〔関場〕 日向（ひなた）集落の道筋 八雲神社・熊野神社 三光院…円福寺〔黒沢〕…長楽寺〔別所〕…春日神社〔宮ヶ谷戸〕 鳥栖観音堂・長福寺〔片井土〕 法蓮寺〔道場〕 河口兵庫助館跡〔調井〕（武蔵西党の武士河口氏の本拠と伝わる）</p> <p>は徒歩、…は車移動。〔 〕内は小字名。</p> <p>2．内容 調査中、適宜市民の方に聞き取りを行ない、土地利用や神社の管理等についてお話しを頂いた。生活の痕跡を探るために、地理的な特徴、土地利用の様子、寺社や石造物の分布状況を地図に書き込んだ。社寺の拝観等には時間をかけず、川口川の上～中流域全体を見通す踏査を行った。一部では石造物（板碑）の探索に時間を割くこともあった。</p> <p>3．次回部会活動日程 平成 21 年 5 月 31 日（日） 上壺分方町・旧下壺分方村・大楽寺町・貳分方町周辺実踏調査</p>		

#### 4．その他

今後の実踏調査では、小字名が分かる図面・地図の準備を用意する必要がある。

##### 【配布資料一覧】

- 1．1万分の1地形図
- 2．『新編武蔵国風土記稿』多摩郡八巻（文献出版、平成8年〔1996〕）のコピー
- 3．縣敏夫『八王子市の板碑』（揺籃社、平成17年〔2005〕）のコピー
- 4．八王子市郷土資料館特別展パンフレット『川口川流域の歴史と文化～中世に至るまで～』（昭和63年〔1988〕）のコピー

上記2～4の一部を合綴した調査の「しおり」を作成した。

部 会 名	中世部会	開催（実施）日時 平成 21 年 5 月 31 日（日） 午前・午後 10 時 00 分～ 午前・午後 5 時 00 分まで
報告者（部会長氏名） <敬称略>	池上裕子	専門員氏名 柳沢 誠
出席者（参加者）氏名 <敬称略>	部会長 池上裕子 部会委員 加藤 哲 小林一岳 櫻井 彦 【事務局】佐藤 広 新井雅人 柳沢 誠	
概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください）		
<p>今年度夏に予定している本調査を前に、本市のほぼ中央に位置する上壱分方町・諏訪町・四谷町・泉町・叶谷町・大楽寺町・式分方町周辺の事前実踏調査をおこなった。</p> <p>1．行程</p> <p>（1）午前 相即寺（泉町） 西蓮寺（大楽寺町） 住吉神社（叶谷町）…諏訪神社（諏訪町） …法泉寺（大楽寺町） 日枝神社</p> <p>（2）午後（式分方町巡見） 無量院跡…観音堂（報恩寺跡。現在は無量院観音堂も併置）…神明社（円光院跡） …谷戸入 野堀川緑道（由井牧の堤堀跡）</p> <p>は徒歩、…は車。</p> <p>2．内容</p> <p>前回（平成 21 年 5 月 17 日〔日〕）の川口川上中流域巡見時と同じく、寺社・旧道・古い遺構に関する情報を地図に落としとしていった。雨のため車移動が中心となった。大楽寺町の北西端に位置する法泉寺では境内からの出土銭（1828 枚。昭和 62 年〔1987〕発見）位牌（関山氏〔天文 3 年 10 月 18 日、関山土佐昌清〕・坂本氏〔元禄～延宝期の 4 名。施主は江戸豊島一丁目坂本伝右衛門〕、江戸末期奉納の法華経、加藤鋳物師末期の半鐘（安政頃作か）等を見せて頂き、開基や周辺の土地に関するお話をうかがった。</p>		

< 実踏の途上確認した板碑 ( 6 基 ) >

西蓮寺境内・・・ 1 基 ( 二重線、弥陀三尊 )

法泉寺境内・・・ 1 基 ( 断片。私年号「福德」銘。弥陀三尊 )

観音堂境内・・・ 4 基 ( 蓮座あり、「嘉吉二年 ( 1442 ) 十二月七日」「妙心禅尼」銘。二重線、弥陀種子あり。 は表面磨耗 )

いずれも縣敏夫『八王子市の板碑』( 揺籃社、平成 16 年 [ 2005 ] ) に未掲載の板碑。

今回は写真撮影のみに止まり、測量を失念していたのは反省点である。以後は簡易であっても写真撮影・測量の準備をしておく必要がある。

### 3 . 次回部会活動日程

平成 21 年 6 月 21 日 ( 日 ) 湯殿川流域実踏調査  
( 午前は今後の調査計画等につき打合せを予定 )

### 4 . その他

実踏終了後打合せを行ない、8 月 21 日 ( 金 ) ・ 22 日 ( 土 ) ・ 23 日 ( 日 ) の日程で、今回実踏した地域周辺の調査を実施することとした。

対象地域の寺社・旧家のリストアップ、検地帳の存否確認、地籍図の用意、聞き取り先の調整等につき、事務局へ指示した。

### 【配布資料一覧】

- 1 . 1 万分 1 地形図
  - 2 . 『新編武蔵国風土記稿』多摩郡八巻 ( 文献出版、平成 8 年 [ 1996 ] ) のコピー
  - 3 . 縣敏夫『八王子市の板碑』( 揺籃社、平成 17 年 [ 2005 ] ) のコピー
- 上記 1 ~ 3 および関係資料数点を合綴した調査の「しおり」を作成した。

部 会 名	近世 部会	開催（実施）日時 平成 21 年 5 月 16 日（土） 午前・ <span style="border: 1px solid black;">午後</span> 4 時 00 分～ 午前・ <span style="border: 1px solid black;">午後</span> 6 時 00 分まで
報告者（部会長氏名） < 敬称略 >	藤田 覚	専門員氏名 白石 烈
出席者（参加者）氏名 < 敬称略 >	藤田覚 神立孝一 光石知恵子 山崎圭 【事務局】佐藤広 新井雅人 白石烈	
概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください）		
<p>1．市内史料所在調査について</p> <p>(1) 史料所在調査が未実施の市内南部（由木・由井・横山・浅川地区）を優先的に調査する。</p> <p>(2) 史料所蔵者と連絡をとり、具体的な調査計画を事務局が策定する。6月下旬の調査開始が目標。</p> <p>(3) 史料所蔵者宅に訪問する部会委員については、事務局と部会委員と協議のうえ決定する。</p> <p>2．市外の史料調査について</p> <p>まず財団法人江川文庫（静岡県伊豆の国市）に事務局が調査可能日等の日程確認を行う。</p> <p>3．他の自治体史のめくり作業について</p> <p>多人数で作業できる体制を事務局が検討し策定する。</p> <p>4．資料編のテーマ設定作業について</p> <p>(1) 部会委員各自が、八王子市郷土資料館所蔵ないし寄託史料のうち大部な名主家文書目録を読み、資料編のテーマになりうる史料を抜き出す。</p> <p>(2) 該当目録は次の5点。 上恩方町草木家文書目録、小宮町関根家文書目録、犬目町小野家文書目録、小比企町磯沼家文書目録、鏈水大塚家文書目録</p> <p>(3) 目録のコピーを事務局が部会委員に送付する。</p> <p>(4) 部会委員の分担は事務局が決定する。</p> <p>(5) 作業結果は次回部会会議で各委員が発表する。</p> <p>5．次回部会会議日程</p> <p>6月28日（土）午後2時から、市史編さん室にて</p>		

【配付資料一覧】

- 1 . 図 近世八王子のむら（『明治三年の村明細帳にみる八王子』より転載・加筆）
- 2 . 表 近世八王子の知行主等一覧（光石知恵子『近世八王子の研究』より転載）
- 3 . 由木地区 史料所在調査候補一覧
- 4 . 近世部会作業予定表（案）
- 5 . 旧八王子市史編集室作成 松木・井草家文書目録（内容別）
- 6 . 旧八王子市史編集室作成 松木・井草家文書目録（編年順）
- 7 . 他自治体史等載録史料一覧
- 8 . 伊豆韮山江川家文書目録（抜粋）
- 9 . 上田市立博物館所蔵佐藤家文書「元禄度 蚕種吟味之義書留」(光石知恵子『近世八王子の研究』より転載)
- 10 . 「蚕種商議定手続等尋答書」(『長野県史』近世資料編一（二）東信地方より転載)
- 11 . 神奈川県立公文書館所蔵 神奈川宿本陣石井家文書他（西川武臣『江戸内湾の湊と流通』より転載)
- 12 . 帝京大学図書館所蔵 武蔵国多摩郡大塚村文書目録

部 会 名	近現代部会	<b>開催（実施）日時</b> 平成 21年 5月 18日(月) 午前・ <span style="border: 1px solid black;">午後</span> 7時 00分～ 午前・ <span style="border: 1px solid black;">午後</span> 9時 00分まで
報告者（部会長氏名） <敬称略>	新井 勝紘	専門員氏名 中村 元
出席者（参加者）氏名 <敬称略>	部会長 新井勝紘 部会委員 梅田定宏 齋藤勉 源川真希 【事務局】佐藤広 新井雅人 渡部恵一 中村元	
<p>概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください）</p> <p>〔議事〕</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1．今後の調査計画について           <ol style="list-style-type: none"> <li>（1）市史編さん事業の現状（事務局説明）</li> <li>（2）市史編さん室の近現代資料の整理・把握状況（事務局説明・配布資料あり）</li> <li>（3）八王子の近現代に関する研究状況（事務局説明・配付資料あり）</li> <li>（4）近現代部会の活動方針について</li> <li>（5）近現代部会の平成21年度調査計画について</li> </ol> </li> <li>2．その他</li> </ol> <p>〔決定事項〕</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1．部会委員への旧役場文書目録データの送付           <p>市史編さん室に保管されている八王子市に合併された旧町村の役場文書は、近現代資料編・本編作成にあたって中核となる歴史資料の一つとなると考えられる。そこで部会委員がこの資料群の全体を概観し、資料編ではそれをどのように扱うのが適当か、また本編執筆にむけこの資料群からどのような歴史のイメージが形成し得るかを考えるための材料として、事務局で現在作成している旧役場文書の目録データを各部会委員に送付する。</p> </li> <li>2．次回部会会議までの各部会委員の検討課題の設定           <p>近現代資料編・本編作成にむけ、各部会委員が以下の課題について各自検討をおこない、次回の部会会議で議論する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>（1）八王子の近現代を扱うにあたってのテーマの検討               <p>先行研究や旧役場文書目録などを参考にしつつ、各部会委員が自身の関心にもとづいて、八王子の近現代を扱うにあたって重点的に扱う必要があると思われるテーマを検討する。</p> </li> <li>（2）今後の近現代部会の体制についての検討               <p>近現代史部会の調査研究体制をいっそう充実させるため、各部会委員が八王子の近現代を扱う</p> </li> </ol> </li> </ol>		

にあたって重視すべき研究、及びその研究者で今後部会への参加を依頼すべきと考えられる人材を検討する。

### 3．連絡名簿の作成

近現代部会構成員間での連絡をスムーズにするため、連絡名簿を作成する。  
作成作業は事務局が担当する。

### 4．次回部会会議の日程

次回の部会会議は、7月6日（月）の16時より市史編さん室で開催する。

以上。

#### 【配布資料一覧】

- 1．市史編さん室の近現代資料の整理・把握状況
- 2．近現代部会 調査研究準備のための覚書
- 3．八王子の近現代に関する参考資料（八王子・多摩関係文献目次など）

部 会 名	自然部会	開催（実施）日時 平成21年 5月28日（木） 午前・午後 9時 30分～ 午前・午後 12時 30分まで
報告者（部会長氏名） <敬称略>	畔上能力	専門員氏名 押田佳子
出席者（参加者）氏名 <敬称略>	部会長 畔上能力 部会委員 菱山忠三郎 新井二郎 【事務局】佐藤広 新井雅人 押田佳子	
概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください）		
<p>1．部会長より市史編さんの目標像</p> <p>(1)前市史（昭和38）は、時代遅れの感じがするので、大八王子にふさわしい資料にすべき。八王子を広い視野のなかで捉え、読んだ市民が啓発されるような内容を目指す。</p> <p>(2)刊行予定の平成25年までに、自然編に係わる項目、人、活動、最終的にどうまとめるか、について十分検討する必要がある。</p> <p>(3)標本目録、植生図改変に関連する膨大なデータが必要になるため、次回の編集委員会では、資料編に該当するものの発行について討議の対象にしたい。</p> <p>2．旧高尾自然科学博物館資料との連携について</p> <p>(1)市史編さんにおける自然部会の活動は、旧博物館の資料を活用する良い機会である。旧高尾自然科学博物館資料は植物、動物ともに数万点を数える膨大なものであるので、積極的に活用したい。</p> <p>(2)過去がわからないと現状が評価できないので、これまでの蓄積データを存分に活かしながら新たなデータを増補することで、短期間で学問の基礎は活かしつつ、生活する視点も取り入れた「自然編」を目指す。</p> <p>3．分野の検討と部会の体制について</p> <p>(1)植物系については、3名の委員がこれまでに蓄積してきた既存のフロラリストや標本があるため充実しているが、植物系以外の部門の充実をはかる必要がある。</p> <p>(2)今後、以下の分野における部会委員を招聘し、自然編の拡充を目指す。 地質・地形・地史、気象・気候、鳥類、昆虫、哺乳類、両生・爬虫類</p> <p>(3)八王子市内には隠れた研究者が多いので、そのような人材を発掘し、市民協働を目指す。</p> <p>(4)各分野の活動を円滑に進めるために、首都大学東京、パルテノン多摩、東京大学、国立科学博物館などと連携をはかり、地域データと人材の拡充、次世代人材の育成を図る。</p>		

#### 4．植物分野における資料調査・整理についての検討

- (1)自然と人とは切り離せない。市民と植物とのかかわり、行事と植物、植物の方言、などについては、民俗部会との調整が必要になると思われる（要検討）。
- (2)既存の標本には採取地の地名がわからない者もあるので、標本整理をする際に採取者自身が整理し、分布を再確認する必要がある。
- (3)パルテノン多摩においては、標本整理作業を地域人材を育てるリーダー育成の場として活用している。八王子市においても八王子自然友の会などと連携して、地域の人々が市史に関わる場を提供することが望ましい。
- (4)フロラ調査に標本作成作業が伴うため、備品として乾燥標本作成用の乾燥機の購入を検討してほしい。
- (5)全体の目標としては、地域の環境教育などと連動しながら、植生図の見直し、丘陵(低地)の再調査、を実施したい。

#### 5．次回部会開催予定について

植物以外の分野の部会委員を選定し、7月に第2回委員会を開催する。

部 会 名	民俗部会	開催（実施）日時 平成21年5月17日（日） 午前・午後 10時00分～ 午前・午後 12時00分まで
報告者（部会長氏名） <敬称略>	小川直之	専門員氏名 松尾あずさ
出席者（参加者）氏名 <敬称略>	部会長 小川直之 部会委員 津山正幹 小野寺節子 入江英弥 宮本八恵子 専門調査員 美甘由紀子 神かほり 乾賢太郎 高久舞 【事務局】佐藤広 松尾あずさ	
<p>概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください。）</p> <p>1．部会長より八王子市史民俗部会の調査、刊行に関する意見</p> <p>（1）民俗部会では部会委員と専門調査員の区別なく、皆が互いに情報を共有して調査を進めたい。</p> <p>（2）今回の事業が地域研究のスタートであると考えたい。</p> <p>（3）地域の人顔が見える、市民に読んで頂けるような市町村史を作りたい。</p> <p>（4）民俗を「変化、変遷」ではなく、「どう変えたのか」という未来に向かったものとして捉えたい。</p> <p>（5）聞き書きだけではなく、「民具から何が見えるのか」という視点に基づいて民具を扱いたい。郷土資料館の民具を十分に活用したい。</p> <p>（6）八王子は、政治・経済的・学問的に多摩地域の中核として長い間役割を果たしてきたところである。この点に留意したい。</p> <p>（7）八王子は、北からの文化と東海の文化が交差するところである。他地域と比較することをとおして特色をだしていきたい。また、八王子市内においてもマチと周辺の農村地域の比較をおこないたい。</p> <p>（8）民俗誌を3冊程度、そのほか建築、芸能、余力があれば民具などの報告書を刊行し、そして本編を刊行したい。</p> <p>（9）民俗誌は、部会全体で取り組まなくとも、2、3人のグループで作ることも可能である。近世村にこだわる必要はない。</p> <p>2．部会員より八王子市史民俗部会の調査、刊行に関する意見</p> <p>（1）従来のオーソドックスな分野ごとの章立てをすると、暮らしの景観まで踏み込めない。「衣食住」ではなく、「着る」といったモノや人の行為にまで踏み込んでみたい。</p>		

- ( 2 ) 民俗誌を刊行したい。調査地については近世村ではなく、沢（流域）で選ぶのはどうか。
- ( 3 ) 八王子には「石川日記」、「尾崎日記」、「瀬沼三左衛門日記」などがある。「日記と民俗」という観点も興味深い。
- ( 4 ) 八王子旧市街地の生活や戦災、芸能、織物、高尾の観光化をとりあげたい。
- ( 5 ) 北多摩との違いを捉えたい。

### 3. 次回会議日程

7月26日（日） 各自具体的な調査プランを持ち寄ること。

#### 【配布資料一覧】

- 1. 調査対象となる文化財
- 2. 旧南多摩郡自治体変遷一覧

平成 21 年 6 月 6 日

八王子市市史編集委員会会議資料

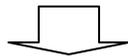
## 八王子市史編集方針について

## 1 市史編さん基本構想(特に「編さんの基本方針」)との関係は？

基本構想は、八王子市における市史編さんはいかにあるべきか、広く市民の立場から総合的に理念をうたったもので、市史編さん事業のよりどころとなる考え方である。

編集方針は、市史編さん基本構想を受けて、歴史や自然研究の専門家が、広義の歴史学や自然科学の立場から、実際に八王子市史を編さんするに際して、指針とするものである。

この編集方針にのっとり、各専門部会は編さん実務に当たるとともに、事務局は基本構想の考えを具現するため、専門部会の活動を支えて本事業の経営・管理につとめる。



## 2 市史編さん基本構想の「編さんの基本方針と市民協働」に示されている考え方

下記の( )は、基本構想素案の市史編さん基本方針・市民協働の番号

## A &lt; 編集の考え &gt;

- ア これまでの研究蓄積を生かし、最新の成果を盛り込み、生活する市民の視点から編さん( 1 )
- イ 市で行った編さん事業の成果を生かす( 2 )
- ウ 政治・経済・行政史に偏ることなく、地域に生きた人々の視点から編さん( 6 )
- エ 国内外、有形無形の資料にも配慮する( 8 )
- オ 八王子の特性に配慮した編さん( 7 )
- カ 質の高い内容で、分かりやすい市史の編さん( 4 )

## B &lt; 普及・活用 &gt;

- ア 広く活用される市史の編さん( 3 )
- イ 図版や新たなデジタル技術を活用した市民が親しみやすい市史編さん( 5 )
- ウ 編さんで蓄積した資料の市民への公開活用( 9 )

## C &lt; 市民協働 &gt;

- ア 市民・地域・大学と協働し、地域の歴史発掘( 1 )
- イ 市民ボランティアの活用をし、市民参加・参画の機会拡大( 2 )
- ウ 地域の研究団体・個人・学校などとの連携し、事業普及、人材育成( 3 )

## 八王子市史編集方針（素案）

今日の地域社会は世界との強い関係を持ち、社会・経済・文化等の急激な変化を経験し、多様な課題が生じている。それらの課題を適切に理解し対応するためには、歴史的に理解することが重要である。地域を歴史的、科学的に分析し考察することは、市民が抱えている多くの課題解決に寄与するものである。

また、市民の暮らしにおいて、多くのことがらが個別化・専門化・細分化している。将来の八王子市を創造するには、生活する市民の視点から総合的、かつ歴史的な考察が欠かせないものである。

一般に、市史編さんは、市民生活とは直接関係ない業務との考えがある。そこで、地域の課題解決に、歴史認識や科学的分析が重要であるとの考えを前文で示す。

- 1 八王子の歴史や自然を総合的、かつ具体的に把握して考察する。
- 2 これまでの研究蓄積を有効に活用し、最新の研究成果を取り入れる。
- 3 広範に存在する有形無形の資料や遺跡や遺構、景観など、多様な資料を活用する。
- 4 時代は単一の時系列に固執することなく、地域を基本とする視点から、時代区分や分野を柔軟に取り扱う。

時間軸をどのように把握するか？ また、各分野（専門部会）相互の関係。

- 5 対象とする地域は現在の八王子市を基本とするが、各事項に応じて広域な地域を対象とする。

空間（地域）を具体的、概念的にどのように把握するか？

- 6 記述はできるだけわかり易く、高校生以上が理解できる文章とし、学術研究に基づき正確に行う。
- 7 各巻には、写真や図版を豊富に用いる。場合により、デジタル化されたものも用いる。さらに、読者が調査・研究をすすめられるよう、各巻に年表や参考文献等を掲げる。
- 8 執筆に際しては、各研究者の歴史に対する考え方や、まとめ方などの個性はできるだけ生かすよう配慮する。

全体的には調和をとり、各巻等においては各部会の個性を活かす。

なお、執筆要項は別に定める。